

当院で行われる研究について

【研究名称】

喉頭癌の手術中に亜急性ステント血栓症を来した一例

【使用する情報の利用目的】

狭心症等で冠動脈ステントが留置されている患者様が手術を受ける際、ステント血栓症が起こることが知られています。特にステント留置後1ヶ月以内は特にリスクが高いとされており、その有効な予防策はまだ明らかになっていません。本研究では、手術中に亜急性ステント血栓症を来した症例を学会等で発表することで、ステント血栓症の発症予防に関して議論することを目的としています。

【利用し、または提供する情報の項目】

以下の項目について、検査を実施し、そのデータを本研究に利用します。これらはすべて日常診療で実施されている項目であり、その頻度も日常診療と同等です。

術前、術中、術後診療情報を電子カルテから抽出します。

患者様の基本情報：年齢、性別、体格、病歴、手術概要、麻酔概要、術後経過

手術中の状態：循環（血圧、脈拍）・呼吸（動脈中の酸素や二酸化炭素）状態

手術時間、麻酔時間、術中出血量

術後経過、術後合併症、入院期間

【利用する物の範囲】

当院で全身麻酔下に喉頭癌の手術を受けられ、亜急性ステント血栓症を発症された患者様が対象となります。上記の情報は全て匿名化し、本人が特定できない形で調査されます。

【情報の管理について責任を有する者の氏名】

横須賀共済病院 麻酔科 木田達也

【研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること】

研究対象者が識別される情報は取り扱いません。本研究に参加したくない場合には以下へ申し出て頂くことにより、当該研究対象者の情報は本研究に利用されません。

【研究対象者またはその代理人の求めを受け付ける方法】

横須賀共済病院 麻酔科

住所：神奈川県横須賀市米が浜通 1-16

電話：046-822-2710 (代表)

電話は平日 8:30-17:15